



旭川市立緑が丘小学校 学校通信

緑小だより

令和4年11月30日(水)発行

学校教育目標
考える子ども
豊かな子ども
強い子ども

校長 内藤 奏子

社会科や生活科、総合的な学習の時間で、緑が丘小学校の校区にある施設や会社、商店の様子を見学し、そこで働く方々からお話を伺う、という学習を発達段階に応じて全学年で実施しています。

3年生では11月8日(火)に緑が丘商店街で時計・文房具店を営む■■■さんに来校いただき、来年50周年を迎えるこの商店街の様子や商品について、年月の流れにより変化したことなど、わかりやすくお話ししていただきました。当日は、感染対策を講じて、教室とオンラインでつないだ学習となりました。毎年、お越しいただいていますが「画面越しでお話したのははじめて」と、学びのスタイルの変化に驚かれつつ、「直接、皆さんの顔を見てお話しした方がいいね」と感想を述べられました。

本校ではこれらの学習をSDGs(持続可能な開発目標)と関連させて、取り組んでいます。SDGsの理念である「多様性と包摂性」は、「みんなちがってみんないい」と金子みすゞの詩から引用されるように、お互いを認め、より良い社会を生きる子どもたちを育てることと合致します。多様性を認め合うためには「他者への想像力を育む」ことが伴っていることが大前提です。

想像力は、これまでの経験で得た情報が影響します。極端な例えですが、娯楽でラジオとテレビでどちらを選ぶか尋ねると、テレビを選ぶ方が多いでしょう。テレビは映像と音声と同時に提供され、即座に楽しいと感じるからです。一方、ラジオは誰が話しているのか、どのように演奏しているのか自分が想像しなければなりません。私が学生の時に好きだった歌手は、メディアに出るのを嫌い、その歌声からどんなにすてきな歌手だろうと想像を巡らせていました。ある日、テレビに初出演することになり、ワクワクしながら番組を視聴していると想像と違い・・・(大変失礼しました)ということもありました。

想像力とは、これまでの経験で得たことから、異次元へ自分を誘う力があります。危険を回避するためにも、想像力はとても重要です。そして、より良い人間関係を築くためには、相手がどう思っているのかを想像することが、最も欠かせない力です。

経験とは、物をつくったり、旅行したり、予期しない出来事に遭遇したりすることだけではなく、「優しくされた」「悲しい思いをした」「なくさめてくれた」など他人から受ける行為も含まれます。これらから得た情報により、想像力は育まれるのです。

「みんなちがってみんないい」と認め合うことができるためには、私たち大人が多様な他者との関係を開いていくきっかけをつくること、つまり「他者への想像力を育む」ことを、改めて見つめ直さなければならないと考えます。

「がんばりなわとび」開始!

冬場の体力向上や持久力・忍耐力を養うことを目的として、11月から「がんばりなわとび」の取組を全校で始めました。朝学習や体育の時間を使って各学年ごとに体育館で行っています。期間は、来年の2月17日までとなります。「なわとびチャレンジカード」を使いながら、【制限時間内に何回跳べるか】や【縄跳びスキル】へ挑戦し自己目標達成に向けて、額に汗しながら一生懸命になわとびを行っています。



3年生 出前授業・校外学習

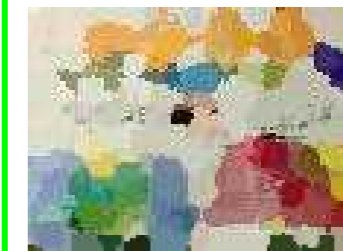
3年生がグリーン(総合的な学習の時間)の学習で、緑が丘商店街について学習を行っています。8日には、商店街で時計・文房具店を営む■■■さんを講師として、商店街の歴史についてリモート授業を行いました。22日には、児童が商店街を訪問し、お店の方にいろいろな質問をする校外学習を行っています。訪問したお店や施設の方には、お忙しいにも関わらず、とても丁寧に対応していただき感謝しています。今回の訪問で得た知識や情報を使いながら、緑が丘商店街の魅力やよさを、3年生同士でプレゼンテーションを行った後、地域の方々に発信していく取組を進めて行きます。



12月の学校行事

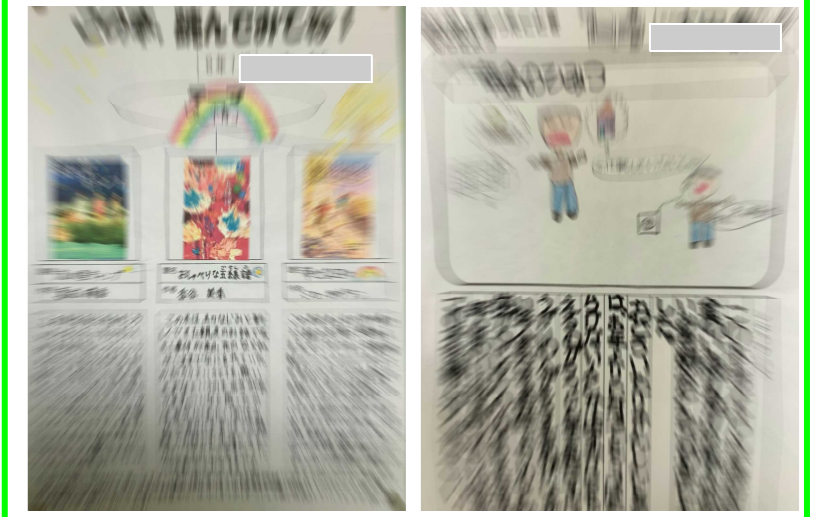
1	木	朝会 交通安全街頭指導 さわやかあいさつ DAY
6	火	読み聞かせ
7	水	租税教室(6年)
8	木	5年出前授業【デザインを学ぶ】(3・4校時)
9	金	5年出前授業【デザインを学ぶ】(3・4校時)
13	火	6年卒業制作(3・4校時)
15	木	プラタナス集会
20	火	学力検査
23	金	2学期終業式
24	土	冬季休業(~1/12)
29	木	学校閉庁日
30	金	学校閉庁日
31	土	学校閉庁日(~1/3)

読書活動展(12月18日まで)



「本のおもしろさを伝え合い、読書の幅を広げるきっかけをつくる」という目的で週2回程度、朝学習の時間を使って全校で読書活動に取り組んでいます。

先月から読書活動展が行われ、廊下には各学年が作成した、国語の学習の時間に取り組んだ読書に関する作品(感想文、紹介文、推薦文など)が掲示されています。



薬物乱用防止・いじめ問題教室(8日)

北海道警察の方を講師として招き、6年生が薬物乱用防止・いじめ問題についての授業を行いました。子どもたちは、真剣に話を聞き実際にあった薬物依存やいじめ問題の話聞く中で「絶対に薬物は使用しない」「いじめられたくないし、人をいじめない」という気持ちを強くもち、自分の存在の大切さを再認識していました。

